



● 草の根パートナー型

平成23年度第1回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	モンゴル
2. 事業名	モンゴルにおける地方小学校教員の質の向上—地域性に即したICTを活用した教材開発を通じて
3. 事業の背景と必要性	現在モンゴル国は基礎教育の移行期にあり、教育の12年制度が導入され教員の役割が増大している。しかしながら都市と地方の教員の質の格差が拡大している状況にある一方で、地方の現状に則したカリキュラムの作成が奨励されている現状にあり、地方の教員にかかる負担はますます大きくなっている。他方、モンゴルでは教育基本計画にてICTの活用が期待される中、国際開発プロジェクトにより地方の学校への機材が導入されつつあり、教育現場におけるICT環境は整いつつあるにもかかわらず、教員研修用教材の不足に加え、教員研修が地方政府の責任となったことから研修の機会は減少しているのが現状である。かかる環境下、ICTを活用した教員研修用教材が活用される機会を作り出すことによって、地方小学校教員の質の向上が図られる必要がある。
4. プロジェクト目標	現地のニーズに合ったデジタル教員研修教材を効果的に活用することで、地方小学校教員の授業における指導力と教授能力が向上する
5. 対象地域	モンゴルの地方の小学校（ウランバートル郊外ゲル地区も含む）
6. 受益者層（ターゲットグループ）	モンゴルの地方小学校教員および生徒、地方政府の小学校教員研修担当者
7. 期待される成果及び活動	<p><成果></p> <ol style="list-style-type: none"> デジタル教員用デジタル研修教材制作をサポートするための教員養成機関（モンゴル教育大学：MSUE）の体制が強化される モンゴル21県の小学校教員研修担当者及び各県代表の研修担当教員がデジタル教材開発の知識・スキルを身につける 地方小学校教員が現地ニーズを反映したローカルコンテンツを含む教員研修教材を開発し活用できる 地方小学校教員が現地の研修教材を活用し、子供中心の教授法を積極的に取り入れ、生徒を教授できる 4つのパイロット校にて、生徒中心の教授法を取り入れたクラスルーム教材が開発され、近隣の学校への普及を通じ、地方小学校教員の教授の質があがる <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 専門家チームの強化： <ol style="list-style-type: none"> モンゴル教育大学のデジタル教材作成のためのサポート体制が構築される モンゴル教育大学の教員専門家のデジタルコンテンツ開発のための知識・技術を強化する 研修教材開発のための研修： <ol style="list-style-type: none"> 地方教員研修専門家と研修用教員のデジタル研修教材開発研修を実施する 21県とUB市にて地方レベルの教員研修を実施する（カスケードモデル） 地方教材開発コンテストのための準備を行う 教材開発： <ol style="list-style-type: none"> 地方レベル、全国レベルにて教材開発コンテストを実施し、現地ニーズに沿った30教科（題材）を選出する 地方5県にてデジタル研修教材を開発する 教員研修にて教材の試行をする 教材を改良して最終版を制作する その他の副教材を作成する 教員研修： <ol style="list-style-type: none"> 制作された教材を活用し教員研修を実施する（カスケードモデルの導入） 選出された県の教員および他県の政府教育文化担当官全350名を対象に研修を実施する パイロット校での教材開発：パイロット校の教員が多様な教材および指導書を作成し、地域の小学校に普及させる
8. 実施期間	2012年3月～2017年3月（5年）
9. 事業費概算額	99,998千円
10. 事業の実施体制	日本側機関：東京工業大学 モンゴル側機関：モンゴル教育大学、地方政府教育文化局、地方小学校
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	国立大学法人東京工業大学
2. 活動内容	世界最高の理工系総合大学を目指し、専門的知識と論理的思考力、問題解決能力を兼ね備えた高度科学技術時代に求められる人材の育成及び最先端研究の推進。